

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	海川敏雄	会員番号:	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 34
分水嶺区分	H227吉堀隧道～H228尖岳	(3) 山行日:	2004年	3月	27日	(4) 天候	晴 積雪2m

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

河村 皆子	9416						
海川 敏雄	10981						
片岡 次雄	12093						
計				3名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	木古内町の道道5号線の吉堀隧道上から南方へ約5km、尖岳まで(往復)												
アプローチ:	函館～木古内 <道道5号> 吉堀隧道まで車で入る												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	吉堀隧道の脇	神明	140	18	9	41	42	50	189		7:55		
分水嶺到達点 H227	吉堀隧道上	"	140	18	15	41	42	51	242	8:05	8:08	B-4	1, 4
	239m地点	"	140	17	59	41	42	17	239	8:50	8:53	A-2	2, 4
	228m地点	"	140	17	54	41	41	47	228	9:34	9:38	A-2	2, 4
	197m地点	"	140	17	57	41	41	30	197	9:58	10:00	B-4	4
	260m地点	"	140	18	8	41	41	15	260	10:21	10:25	B-4	4
	289m地点	"	140	17	46	41	41	1	289	11:08	11:10	B-4	4
	312m地点	"	140	17	36	41	40	40	312	11:40	11:55	B-4	4
分水嶺離別点 H228	尖岳頂上	"	140	17	22	41	40	26	606	12:45	13:06	B-4	4
歩行終了点	吉堀隧道の脇	"	140	18	9	41	42	50	189	16:08			
総歩行時間(休憩時間を除く):												7時間30分	
分水嶺距離:												6km	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

1. 「ブナ林施業公園」(北海道森林管理局森林技術センター 平成8年9月設定)と書かれた看板があり、隧道周辺に四阿・木馬・遊歩道・トイレ等が造られ、森林育成や潤いと豊かな心の涵養・・・といった設定の趣旨が表示されている。
2. 分水嶺上に作業道が造られている(約50cm前後の積雪があり、道の状態は不明)。
3. 木古内川の支流のトンガリ川に沿って「トンガリチリチリ林道」なる林道が造成されていて、尾根上からところどころ見えている。

(9) 水および植生に関連した特記事項

4. 樹木はほとんどがブナである。
5. ところどころにトドマツやヒメコマツが植えられている。

(10) その他の特記事項

6. 尖岳は標高604m(地図上)程度の低山であるが、文字通りの急峻な山で風格もあり、このあたりでは一頭地を抜いている。頂上から袴腰岳・七つ岳・大千軒岳等が眺められるが、360度の大パノラマは圧巻で、「山は高きをもって尊しとせず・・・」というが、その言葉を実感させられた山行だった。
尖岳の積雪は2～3m。1人はワカン、2人はつぼ足で踏査。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: